

文楽の里まつり



審査で1等となった生産者のみなさん



9月12日、「清和文楽の里まつり」が清和文楽邑で行われ、たくさんの方の観光客と地域の方が清和地区の「文化」と「食」を堪能しました。

第28回を迎えた「清和文楽の里まつり」。文楽館では日頃の感謝を込めて、今年も清和文楽無料公演が行われました。演目は「日高川入相花王（ひだかがわいりあいざくら）」。午前と午後の2回の公演です。客席は、前日までの予約で2回とも満席となり大盛況でした。

清和文楽の無料公演のほかにもさまざまなイベントや出店がありました。緑仙太鼓、小学生による清和太鼓などのほか、三味線とキーボードのデュオ、出ーI Z R（イズル）の公演があり、音で観客をおもてなし。さらびやかな衣装で登場したJA女性部による踊りも披露されました。

このほか、清和高原野菜のバイキングや、清和地区野菜・果実などのバザー、地元米を使ったおにぎりの販売、木工教室も開かれました。

さらに、清和保健センターでは、ミニミニ絵本カーニバルも同時開催されています。

会場では、農産物品評会が行われました。今年は町内全域から275点の出展がありました。各品目の1等と審査に当たった上益城地域振興局農林部と熊本県たばこ耕作組合の講評をご紹介します。

葉タバコ	春日 健伸さん
栗	高本 照子さん
トマト	岩崎 重信さん
ピーマン	松本 清博さん
ニラ	高本 豊美さん
キュウリ	飯星 武弘さん
キャベツ	志賀 元さん
その他	木野 誠喜さん
穀物	枝尾ひろ子さん
	大濱 美幸さん

葉たばこ

熊本県たばこ耕作組合阿蘇事務所長 蘭野 勝之氏
作柄の正常化が定着し、中柄主体で素直作を反映して全体的には充実良好、組織緻密なものが生産されたものの、気象異変（梅雨の長期化）による作柄への影響に悩まされた1年となりました。しかし、農家の懸命な努力により目標収量が確保できる結果となりました。

クリ

上益城地域振興局農林部 中尾 郁美氏
開花期頃の天候不良による開花遅れや夏場の猛暑が続いたことによる肥大不足が心配されていましたが、出品されたクリは肥大のよいものが揃っていたと思います。審査基準は、つや・鮮度、玉揃い、重さ・大きさの3点を中心に行い、上位入賞のものは光沢もあり、玉揃いも良く、大きさも十分でありました。

野菜

上益城地域振興局農林部 井上 直子氏
今年の夏秋の野菜栽培期間は、4〜5月の低温傾向の中の播種、定植に始まり、梅雨期の低日照後は厳しい残暑が続くなど悪条件でしたが、定められた出品規格に沿った優良な出品物が多数揃っていました。上位に選ばれた方々の常日頃からの栽培管理など努力の結果です。今後さらに良い品物の生産に期待します。

